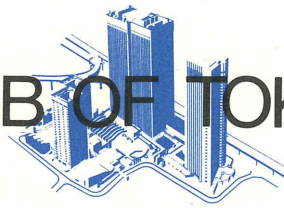


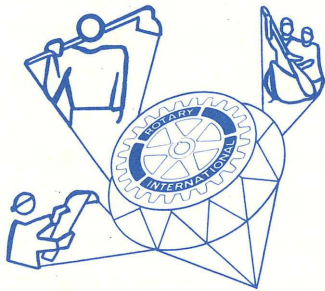


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

No. 150 1989年10月27日



国際ロータリー会長 ヒュー・M・アーチャー

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

ENJOY ROTARY!

**ロータリーを
楽しもう!**

本日の予定 1989年10月27日(第152回)

卓話 (イニシェーションスピーチ)

『私と印刷』 宮澤 博君/当クラブ会員
久米興産(株)代表取締役社長

先週報告

1989年10月20日 第151回

第3回クラブ協議会 13:10~15:00

テーマ「会員増強と財政」

司 会: 佐藤 定 宏会長

♪ロータリーソング: 「それでこそロータリー」

ソングリーダー: E.A. ZALOOM 君

ニコニコボックス紹介: 青野 信次 君

アイメイトボックス紹介: 平井 逸夫 君

来客紹介: 高須 康有 君

出席状況: 会員52名中/出席38名/欠席14名
来客8名(都内8名)

◎第3回クラブ協議会報告

〔日 時〕 10月20日 13時10分~15時

〔テーマ〕 会員増強と財政

(1)財務問題、①クラブ財政について(田島RC情報委員長)

②クラブ財政の在り方(平井会計) ③クラブ財政の実情
(山下副会計) ④会員数と財政との関係(入沢会員)に
についての説明を聞き、健全財政の具体策を協議した。

(2)会員増強、①選考基準(川鍋会員選考委員長) ②増員促進策(斉藤会員増強委員長)についての説明を聞き、質疑応答を行った。

〔出席者名・敬称略〕

赤松、青野、芦谷、馬場、後藤、平井、保科、入沢、
石川、岩上、岩瀬、河原、川鍋、小澁、宮本、宮澤、
永井、二宮、大日方、沖、斉藤、佐藤(定)、佐藤(幸)、
関、柴本、柴藤、四分一、鈴木、田島、高須、武下、
田中、渡邊、山川、山下、保森、吉田、ザルム

◎東京南 RC・東京新南 RC の合同コンベ

〔会 場〕 保土谷カントリークラブ

〔日 時〕 12月6日(水) 9時集合、9時42分スタート

◎アイメイト基金ボックス(順不同・敬称略)

平井 逸夫(2)・保科 正・入沢 頼二・
河原 勢自(2)・川鍋 達朗・宮本 正祥・
宮澤 博・村川 優・永井 克彦・
斉藤 茂之・柴藤清三郎・高須 康有・
山川 政樹・山下 忠治・吉田 用親・



() 内は回数

10月20日 15件 ¥125,000

累 計 28件 ¥299,500

◎慶事披露

お誕生日 10月20日 河原 勢 自 君

ニコニコボックス

(順不同・敬称略)

中 利太郎 275地区米山奨学委員長(10/13預り)
和氣 清靖(東京南) しばらく新南クラブにご無沙汰
致しました。

小澁 雅亮 入会させて頂き有難うございます。

村川 優 100%出席(3年)しました。

河原 勢自 お誕生日を迎えました。

河原 勢自・青野 信次・宮本 正祥

福田さんありがとうございました。

永井 克彦 何もしないまま1年たちました。

高須 康有・ザルム・岩瀬 秀郎

平井さん写真ありがとうございました。

沖 宏之 サンフランシスコの災害が最小限ですみ
ます様。

後藤 信夫 今日は良い天気です。

馬場 一廣 先日100%出席の表彰の際、大失敗しま
した。勝山さん済ませんでした。

10月20日 15件 ¥76,000

それぞれ、多額のご寄附を頂き、有難うございました。

◎ビジター(敬称略)

広瀬光良/東京新宿RC、上村 信/東京多摩RC、田
崎喜朗/東京西北RC、鹿毛敬介/東京みなとRC、子
安敬三・恵谷 博・西尾信一・和氣清靖/東京南RC

『職業分類委員会』

笹 倉 誠

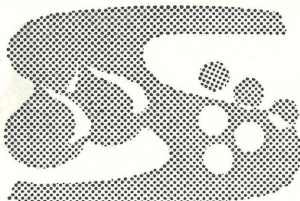
図らずも職業分類委員会をお引受けすることになりました。

会員の増強が当クラブにとって目下最大の課題と承知しておりますが、職業分類は会員増強と最も関係の深い分野かと考えています。ロータリー活動に不馴れな小生ですが、幸い先任の斉藤さんが会員増強の委員長ですし、又御多忙中にもかかわらず佐藤現会長にも委員を引受けていただきましたし、皆様の御協力を得て、万漏れのない様に努めさせて戴き度く存じます。

世の中の変化が激しく色々な新しい職業が生れて来つてあります。現在の分類表では必ずしも適確に会員各位のお仕事を表現出来かねる事もあるかと思ひます。新しく会員になる方は勿論の事、現在の会員の方々の職業分類も必ずしもその実態を正しく表わしていない場合には、皆様と御相談の上、出来る限り修正して行き度いと存じております。

皆様の御指導と御協力をお願い致します。

委員長 ご挨拶



『ロータリー情報委員会』

田 島 一 郎

本年度の RI のテーマ “Enjoy Rotary” について、田辺ガバナーは論語の中の言葉「之を知る者は之を好む者に如かず、之を好む者は之を楽しむ者に如かず」を引用して「楽しむ」という高邁な境地を説いております。私にはこの言葉は「楽しむ」までの過程、すなわちまずロータリーを知り、次に好きになり、さらに楽しむ境地に達するまでの順序を示しているように思われます。

まず知ることが第一です。ロータリー情報委員会は、特に新入会員にロータリーを理解してもらうために、座談会をもちたいと考えております。特別なプログラムについてはその都度例会で適当な会員に3分間スピーチをお願いしたいと思っております。

一方今年 11 月 13 日に開催される区部3分区合同 IM では分科会の一つとして、「新入会員へのロータリー情報」がとり上げられておりますので、多くの会員が奮って参加されることを期待しております。

『雑誌委員会』

武 下 朗

雑誌委員会は、ロータリーの機関雑誌「ロータリーの友」をよく読んで下さい。そしてこんな特長とか活用法がありますと、皆さんに PR することが一番大切な任務かと思ひます。まずよく読まれているかどうかは、昨年雑誌委員会でのアンケートのお答えを拝見すると、チラチラ読む方、精読する方両方合わせるとかなりお読みになっているようですので「ロータリーの友」の活用法について少し記してみます。

クラブに貢献する 「ロータリーの友」をクラブ・プログラムのアイデアのヒントにする。意欲的な記事に関してクラブフォーラムを開く。特集記事をもとにクイズ・プログラムを行なう。等

投稿大歓迎 編集作業は常に2ヵ月先をめざして進められていますので季節の先取りが必要です。ご注意下さい。

広告 発行部数は116,000部です。今発売されている女性誌の平均発行部数と同じくらいというのですから驚かされます。ちなみに広告料金は表2、4色カラーで550,000円（表紙の裏の広告です）本文4色カラー480,000円、記事モノクロ1頁210,000円、2分の1頁が120,000円です。広告が表2以外は全部本のセンターに集まっているのもユニークです。

『ソングリーダー委員会』

村 上 満

塩を加えて、“サルー”（乾杯）と一声、一息に飲みます。ライムと塩とビールの混然としたその爽快感を味うとき、“今、メキシコにいるんだ。”と叫びたくなるような感動に襲われました。

メキシコの地酒であるティキラには、ライムと塩がつきものです。ライムをしやぶり、塩をなめてから、ティキラを一気に飲み干します。テカテはティキラの伝統的なドリッキング・スタイルを真似たのだと思ひます。

そう言えば、“コロナ”というメキシカン・ビールが近年アメリカの市場を席捲しています。若者の間では、ロングネックで透明瓶に詰められたコロナビールにライムのスライスを加えて飲むスタイルが流行ったものでした。

ロスアンゼルスの子生街、ウェストウッドのパブの止り木に、独り座り、バックに流れる“エルコンドル・パサ”（コンドルは飛んでいく）を聴きながらコロナを飲んでいきますと、エトランゼの感傷の波が急に打ち寄せてくる感じがしました。

こんなことを、とりとめもなく思い出しながら、ロータリーソングを歌うことがございます。

“ロータリー”との出逢い”

宮 澤 博

「出逢い」と言う言葉が私は大好きだ。今から数年前に、私共の管理者研修会でこの「出逢い」というテーマで十数人の人達に語って貰ったことがあった。

或る人は「物」との出逢い、或る人は「妻」との出逢い、また或る人は「友人」との出逢いなど、この言葉一つをとっていろいろな解釈の人が居るものだ。私は大学を卒業して30数年印刷関係の仕事をしてきたが、その中で多くの人達に助けられながらなんとか職業人としての目的を達しつつあると自負している。その中でつくづく思うことは如何に人間関係が大切であるか—と云うことである。ともすれば人間は厳しく複雑な現実の生活の中では自分だけで切抜けてきたと思いがちである。この「出逢い」の大切さをどのように教えたらいいものか、ただ私は何時も心掛けていることは、この広い世の中で自分の目にとまったもの（花でも木でも）また隣合せに坐った人もすべてこれなにかの縁である。だからそれ等のものを大事にしよう、親しくなってみようと思心掛けるようにしている。遠い異国列車の中でフト乗り合せた地元の老夫婦と、片言の英語と身振り手振りで日本のオセンベイの説明を試みたり、入試に失敗して故郷熊本に帰る受験生との話など—そうすることによって旅も充実するし、その人達も束の間の時間を楽しんでくれたかも知れないのである。

私をこのロータリークラブに推薦して下さったのは保科さんであり、また保科さんをとおしてご紹介いただいた村川前会長さんのお二人です。

ロータリークラブそのものは昔から多少は理解していたつもりでしたが、入会させていただいてまだまだ解らないことばかりでした。“ロータリーアンは先づ自から行動をおこせ”と云うことが一つわかった。しかしそれには、私自身が所謂「自己革新」出来なければ駄目なことに気がついた。どちらかと云えば前ばかり見て歩いてきた昭和ヒトケタだけに、この入会を機会に大いに反省している。

世の中は変化している。いつどこで接点が芽生えるかも知れないのである。いやむしろ自分と「異業種」「異分野」の人、自分と違った能力を持った人を大切にすべきなのだ。そして人の輪が広がってゆく。自分自身も磨かれていくと云うことになると思う。

ロータリークラブに入会させていただいて少し戸惑っている私も少しずつ着実にクラブの主旨を理解しながら皆さんの輪の中に溶けこんでいこうと努力しています。

“インドネシアのことなど”

芦 谷 庸二郎

私は本年6月に当クラブに入会を許されました。

学生時代のサークル活動を通じて大日方氏と面識を得、それが契機となっていることを思うと人の縁の大切さを痛感します。今回は新入会員の自己紹介ということですから略歴をまじえ印象に残る思い出を紹介させていただきます。

私は兵庫県立竜野高校を卒業し、京都大学経済学部に入學、昭和36年川崎製鉄に入社しました。

竜野の町のこと、入社後の経歴は共に省略し、海外駐在のことに触れさせていただきます。

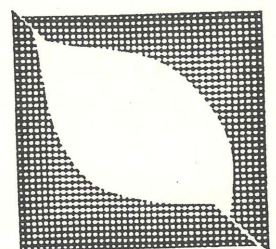
一度目は昭和51年～55年の3年半の間ロスアンゼルス事務所長として赴任しました。この間に当時、同じくロスにおられた赤松さんにお会いした記憶があります。

そして二度目は昭和58年～61年の3年間ジャカルタ事務所長としての赴任です。ロスから帰国後鋼材輸出を担当しておりました私がジャカルタ事務所の開設を提案、思惑とは反して私自身が開設赴任させられたという思い出のプロジェクトです。東京—ジャカルタ間を往復しながら在日インドネシア大使館とのネゴから始まってインドネシア政府の認可、事務所の設営など約4ヶ月かかって開設、引き続き初代所長として駐在しました。

アメリカには特別の違和感を持ちませんでしたが、インドネシアは違った世界です。アジアの発展途上国に共通する多くの特徴を持ちながら、多くの違いも持っています。色々な人がそれぞれの経験から様々にインドネシアを捉えています。各人にとっての“マイ・インドネシア”が成立する複雑な世界といえるでしょう。例えばそれはイスラムであり、神秘主義であり、華僑支配などである訳です。

私自身はできるだけ多くの人に会い、多くの土地を訪れることに努めました。北はスマトラの北端アチェから、東はニューギニア高地迄訪れました。その中には第2次大戦の激戦地もあり、毎年日本から慰霊団が訪れることも知りました。若き頃、文化人類学に興味を持ったこともある私には、胸震える日々であったといえます。

今、私は川鉄の情報化路線の一端を担って走っている毎日ですが、後で振り返った時やはり胸震える日々であったと言えるようでありたいと願っております。



会 員 寄 稿

自 己 紹 介

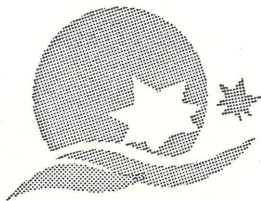
高 須 康 有

私は、昭和28年生まれですので、当然ながら当クラブ最年少であります。生まれは、兵庫県西宮市の甲子園であります。甲子園と言えば、春夏の高校野球や阪神タイガースというイメージが強いと思われますが、野球ばかりの土地柄ではありませんで、結構、近くに海山の自然に恵まれた所でもあります。そんなことで、子供の頃より、仁川、甲山、六甲山など良く遊びに行ったものです。

私は、どの様な切っ掛けか分かりませんが、小学2年の後半より、ボーイスカウトに入り高校2年まで約9年間、色々と活動をしました。ボーイスカウトは、社会奉仕活動等を通じて、青少年の心身の育成を目的としているわけですが、当時の私は、その辺の意識は薄く、少々反省しておりますが、それよりも同じ仲間とハイキングや、春休みや夏休みの長期キャンプが楽しみで続いていたのではないかと思います。学校の違う先輩、同輩もいる中で、学業を離れて集まる場があったことは、良かったのではないかと思います。中には良い？先輩もいて、タバコを教わったのもその頃でした……。

昭和54年に東京へ出て来るまで、関西暮らしでしたので、その時の印象は強烈で、東京の大きさに驚き、当分、御上りさん気分でありました。東京での生活も、早や10年過ぎたわけでありましたが、自分なりに東京人になったつもりで、友人達が上京した際も、さぞ当り前の様に案内している次第です。ただ、言葉だけはこれ以上、無理の様ですので、どうかお許し下さい。

仕事につきましては、職業分類で「管工事」であります。表現がいささか古いとは思いますが、建設業法では、この表現を使っていますので、止むを得ないのでありますが、空調調和、給排水衛生設備の工事会社をしております。過去には、附帯設備とか、付けたしの様に呼ばれていた時もありましたが、近年になり、設備に対する認識も高まってまいりました。それだけ、社会生活への密着が進行しつつあるものと感じております。この道の大先輩の佐藤会長がおられますので、偉らそうなことは言えませんが、これから少しずつでも社会環境にプラスになる様、努力して行きたいと思っております。何やら色々とお申し上げましたが、よろしくお願い致します。



◎「新会員歓迎会」「第9回食べ歩き会」報告

10月11日第9回食べ歩き会が新会員歓迎会を兼ねて開催されました。当日は生憎の雨でしたが30名の参加者が船宿「はしや」に集合6時20分浜松町を出発、お台場に錨をおろして屋形船での大宴会を楽しみました。

10月6日に入会されたばかりの小澁さん御夫妻を始め、関さん、高須さん、宮澤さんがそれぞれ自己紹介をされユーモアあふれる佐藤会長の歓迎のことばの後は全員大いに飲み、食べ、かつ語り合い終始なごやかな当クラブらしい大変楽しく盛り上った会になりました。

出席者（敬称略）は次の通りです。

会員〔同伴者〕

青野、馬場、福田、後藤、入沢、河原（和加子）、川鍋、小澁（久美子）、丸山、宮澤、永井、二宮、沖、佐藤（悌子）、関、柴本、四分一、鈴木（美智子）、高須、田中（清子）、渡邊、山田、山下、吉田（克枝）

なお、次回の食べ歩き会は来年の1月（予定）鈴木、川鍋両会員のご好意により、極上のワインを格調高いワイン談義を聞きながら楽しむ事になりました。

場所は川鍋さんのお宅です。今からご予約頂ければ幸いです。（世話人・福田、永井）

◎ゴルフ同好会報告

親睦ゴルフ大会が10月15日（日）千代田CCで行なわれました。

参加された方は8名でした。

（1組 小西、渡邊、吉田、山川）
（2組 田島、斉藤、二宮、関）

ご参加の皆様ご苦労さまでございました。

（世話人・斉藤茂之）

◇他クラブ例会変更のお知らせ

東京麹町RC 10月30日（月）→中央分区IMに振替

東京四谷RC 11月2日（木）→10月30日（月）IMに振替

東京大崎RC 11月10日（金）→13日（月）3分区IMに振替

◎次週 1989年11月3日（金）は、祝日（文化の日）のため休会です。

◎次回予定 1989年11月19日（金）（第153回）

ビュフェスタイル例会のため卓話はありません。

受付会計／宮澤・高須 来客紹介／四分一

ソングリーダー／村上 ニコニコボックス／芦谷

各担当の会員の方は、11時50分迄にご出席願います。

東京新南ロータリークラブ 会長＝佐藤 定宏 副会長＝川鍋 達朗 幹事＝馬場 一廣 会報＝大日方 真
事務所 〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004
例会日 金曜日 12時30分 例会場 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL. 03-505-1111